

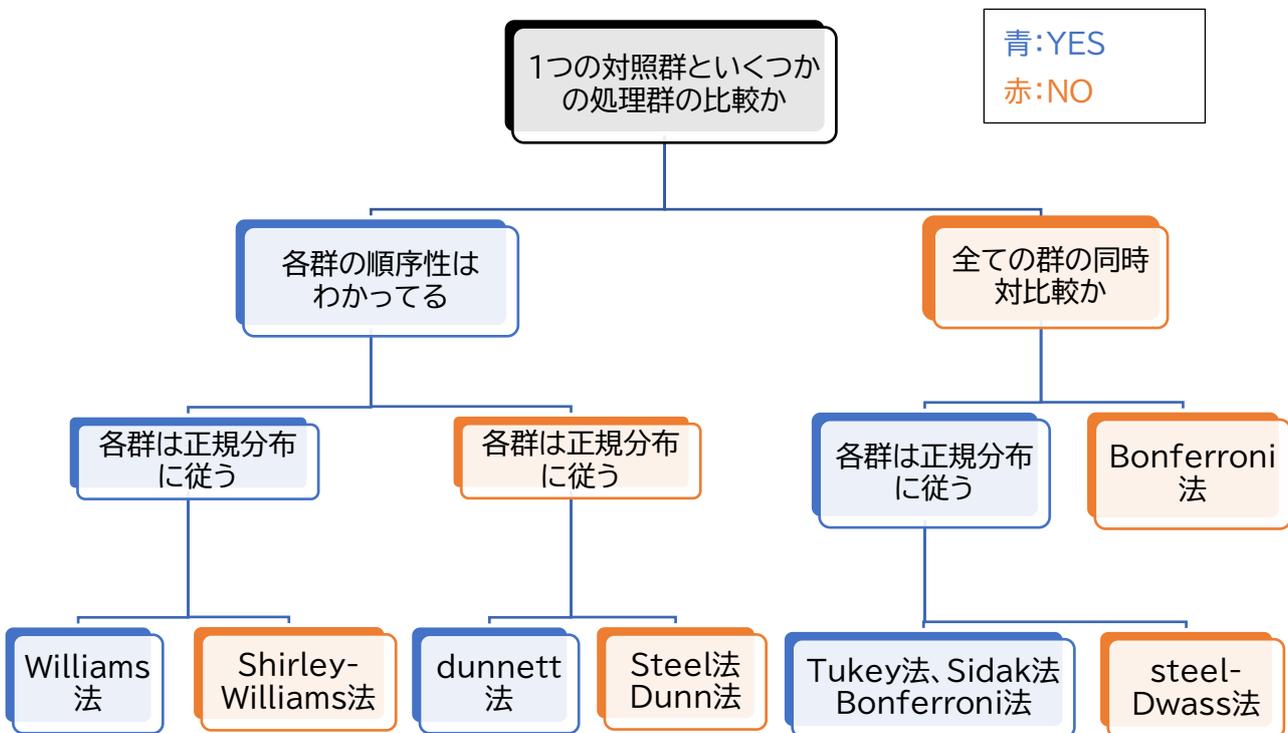


多重比較法について【第60回生物統計学】

1. 多重比較法を行う理由

一元配置分散分析では複数の群全体における母平均の差を検出するもので、どの群間において差があるか不明なままです。さらに、各群間の有意差を検定するためにt検定を複数回行うと、検定の多重性が生じてしまうことを【第58回生物統計学】分散分析の概説で解説していました。この多重性の問題を解消するために行う検定が多重比較法になります。この多重比較法にはいくつかの検定法が存在し、それぞれ特徴があることが知られています。今回はどの手法を用いればよいのかをフローチャート式で紹介します。

2. 多重比較法の選択フローチャート



3. まとめ

今回は多重比較法についてご紹介しましたが、各検定法については今後詳しくご紹介していきたいと考えています。

医学研究やヒト臨床試験を行うときには、まず、評価項目や評価の時点に優先順位をつけて、どの評価項目のどの時点が重要であるかを計画書に事前に明記することが大切です。多重性の調整が必要となるような複数の評価項目がある場合はどの検定法を用いればいいのを知っておくことでより正しく有意差を示すことがなるとおもいます。